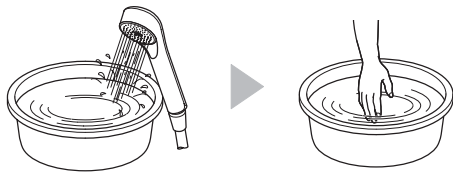


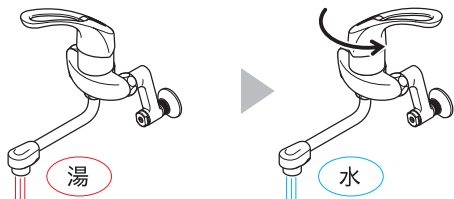
やけどに注意!

① お湯を使う前に必ず温度確認してください。

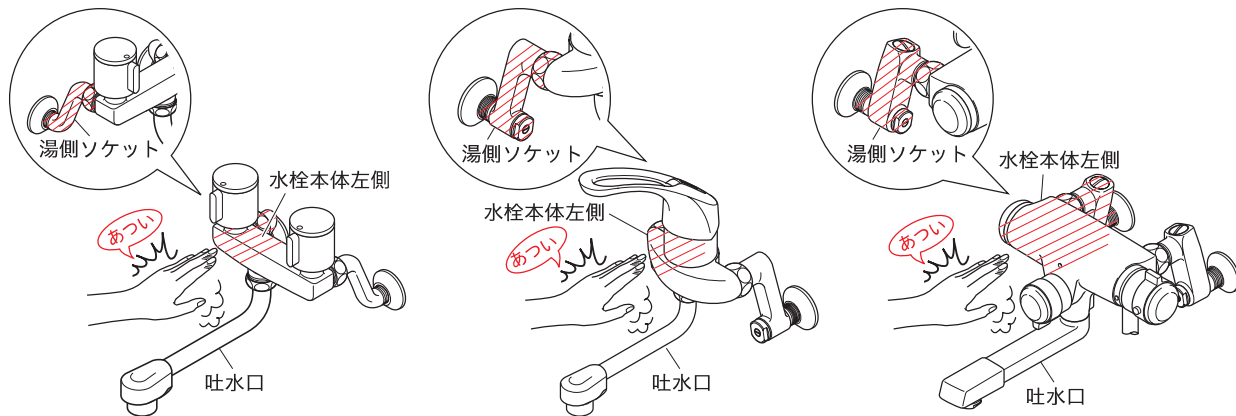


洗面器などでお湯を溜めてから、湯温を確かめましょう

② お湯を使用した後は、しばらく水を流してください。



③ お湯の使用時に水栓表面が熱くなるため、ハンドル等の操作部以外は触らないでください。



④ 水栓使用中は、高温側に給湯温度設定を変更しないでください。

給湯温度は、水栓機能に支障のない範囲（50℃～60℃）で設定してください。



これを守らないと… やけどをする可能性があります

どうしてやけどをするの？ 何を守ればいいのか？

- ① 湯水混合水栓で高温側にハンドル調整されたまま、シャワーをご使用されると全身に高温の湯を浴びて、やけどをする場合があります。ご使用後は必ずハンドルを低温側へ調整してください。ご使用時には、洗面器等に湯をためて温度を確認してからご使用ください。
- ② 高温のお湯をご使用後は、水栓の中に高温のお湯が残っています。次の人がご使用する際に水栓内のお湯が最初に吐水され、やけどをする場合があります。高温のお湯をご使用後は、しばらく水を流してください。
- ③ 湯水混合水栓の本体表面は、湯の温度が伝わり高温になります。誤って表面に触るとやけどします。**小さなお子様や高齢者が、水栓本体に触れないようご家族が十分ご注意ください。**
- ④ シャワーご使用中に給湯器の設定温度を上げると、高温の湯が出てやけどをする場合があります。給湯器の設定温度は、**水栓機能に支障のない範囲（50℃～60℃）に設定していただき、水栓側で適温に調整してください。**リモコンの設定は、高温側に設定されれば高温のお湯が水栓側に供給されますので、温度設定時にはご使用者様が十分ご注意ください。